



<報道関係各位>

日本のまつり・故郷の味

2019年1月21日

ふるさと祭り東京2019ー日本のまつり・故郷の味ー

10日間で424,401人が来場！

第10回全国ご当地どんぶり選手権では「のどぐろ丼」が初のグランプリを獲得！

開催期間：2019年1月11日(金)～20日(日)【10日間】

ふるさと祭り東京実行委員会は、1月11日(金)から20日(日)までの10日間、東京ドームにて、全国各地に伝わる伝統の‘祭り’や‘ふるさとの味’が一堂に会した『ふるさと祭り東京2019ー日本のまつり・故郷の味ー』を開催し、**424,401人**のお客様にご来場いただきました。11回目の開催で累計入場者数が400万人を突破しました。

最終日の1月20日(日)には、「第10回全国ご当地どんぶり選手権」の結果発表・表彰式を開催しました。過去の選手権で2度のグランプリ受賞を果たした3つの「殿堂入りどんぶり(殿丼)」も参戦した、過去最大規模となる全18どんぶりによる選手権を制し、**島根県の「のどぐろ丼」が、見事グランプリ・観光庁長官賞に輝きました。**

準グランプリ(第2位)は鹿児島県の「志布志発 かごしま黒豚三昧」、第3位は北海道の「十勝牛とろ丼」、第4位は山形県の「米沢牛ステーキ丼」、第5位は青森県の「八戸銀サバトロづけ丼」でした。なお、グランプリには賞金50万円+副賞、準グランプリには賞金30万円+副賞、第3位には賞金10万円+副賞を授与しました。

グランプリ受賞の「のどぐろ丼」を提供した、「出雲 日本海」の加田義憲さんは、「初出場だった昨年は入賞することもできず、悔しい思いをしました。平成最後の戦いに挑むため、たくさんの方々に相談し、サポートしていただきました。のどぐろを東京に届けてくれた地元の方々や、応援してくれたお客様に感謝したいです。」と喜びを語りました。



「第10回全国ご当地どんぶり選手権」  
結果発表・表彰式の様子

<第10回全国ご当地どんぶり選手権・結果>

【グランプリ・観光庁長官賞】



のどぐろ丼  
出雲 日本海  
(島根県)

【準グランプリ】



志布志発 かごしま黒豚三昧  
志布志いい肉食べさせ隊  
(鹿児島県)

【第3位】



十勝牛とろ丼  
株式会社円らく  
(北海道)

※全国ご当地どんぶり選手権は、お客様がどんぶりを食べた後に、気に入ったどんぶりに“コイン”を投票していただき、順位が決まります

また、会期中、「八戸三社大祭」「青森ねぶた祭」をはじめ、「秋田竿燈まつり」「高知よさこい祭り」「沖縄全島エイサーまつり」など全国各地のお祭りが会場内で山車の運行や演舞を披露し、『ふるさと祭り東京』から元気と活気を発信しました。

ふるさと祭り東京実行委員会 岡崎慎 総合プロデューサーは、「日本のすばらしい文化であるお祭りやご当地の味を、10日間で非常に多くのお客様にご紹介することができました。このふるさと祭り東京でお楽しみいただいたお祭りや本場の味を、ぜひ今度はそれぞれのご当地へ足を運んでいただき、体感してください。」と語りました。

本年で11回目の開催となりました「ふるさと祭り東京ー日本のまつり・故郷の味ー」は、皆様のご期待にお応えし、2020年も開催の予定です。今後もご期待ください。